人気ブランドのデモカーに見る!!

# 内外装どこから攻めるか?! ドレスアップ・ざっくりポイント解説

いま、もっともホットなクルマであるプリウスには、現行30系に加え、先代20系用のパーツも数多くリリースされており、内外装、機能パーツと、かなり幅広くドレスアップすることができる。

そこで、まずここではその攻略ポイントを簡単解説。ごくごくオーソドックスなポイントを中心に、どんな効果が期待できるのか、ドレスアップをするうえでの注意点など、はじめてドレスアップするビギナーへ向けた情報をざっくりと解説していこう。

ほかのクルマ同様に、プリウスでもっともパーツの選択肢が多いのがエアロとホイールだ。どちらもエクステリアの要であり、変わり映えも高い人気パーツである。ただしこの2つも含め、ドレスアップパーツにはそのルックスだけでなく、装着することで起こり得る"変化"にも充分注目したい。ルックスを重視するばかり、走りにくい、乗り心地が悪いなどがあっては、クルマ本来の使い勝手を損なう可能性もある。とくにプリウスのような省燃費車の場合、メイク次第では燃費も予想以上に悪化させる可能性も充分にあり、ルックス的なバランスを考えても、闇雲にパーツを選ぶことはあまりオススメしない。目指す方向性を決めるなど、ある程度プランを絞り込んだメイクを心掛けたほうが、より満足度の高いドレスアップを楽しめるはずだ。

攻略ガイド recommend news!
ドレスアップポイント解説
**Dress-UP Point**

## ❶エアロパーツ
注目度:★★★ パーツ数:多

エアロを構成するパーツは、フロントからサイド、リアと基本3点。よりスポーティで個性的なスタイルが手に入る。前後エアロは、純正バンパーに追加するハーフと、純正と全交換するバンパータイプがあり、サイドは純正追加が基本。取り付け費のほかに塗装代が別途かかるほか、メーカーごとに出幅が異なるため、購入前のサイズ確認も必須だ。

## ❷ボンネット
注目度:★★★ パーツ数:少

ボンネットは目立つ部分だけに、効果は抜群。ただし、パーツはかなり少ない。ダクトを追加するなどハードな技があるが、シートを貼り付けるだけでも相当印象が変わる。ランドスタイルのボンネットは、ワンオフで製作したカーボン仕様。今後発売が期待される。

## ❸ホイール
注目度:★★★ パーツ数:多

味気ない純正と交換することで、足元の印象を激変させるアルミホイール。デザインはもちろん、サイズや色選びも重要。プリウスでは5穴のPCD100というサイズが対象となるが、急激に選択肢は増えており、軽さや剛性を追求した機能派仕様も多く、選びがいがある。

## ❹エンブレム
注目度:★★★ パーツ数:中

エンブレムは、ワンポイントメイクに最適。純正の該当部分を狙ったメイクから、デモカーのように天面を塗装したりLEDを埋めこんだり、意外なほどにメイクの幅が広い。DIYでも楽しめるお手軽さだ。フロントだけでなく、リア、そしてサイドのエンブレムも注目したい。

## ❺マフラー
注目度:★★★ パーツ数:中

サスペンションと並ぶ、機能パーツの筆頭であるマフラーは大きく2種類あり、リアピース以降を純正と置き換えるタイプと、純正マフラーエンドに追加するマフラーカッターがそれだ。純正マフラーがとても味気ないだけに、効果は大きい。本数、出口形状、出口サイズなど、注目すべきポイントも多く、交換型は少なからず重量が重くなるが、カッターは純正ベースのため容量不変で楽しめる。

## ❻天井
注目度:★☆☆ パーツ数:少

ハッチバック形状のためか、リアから眺めたときのモノ足りなさが少々気になるプリウスには、ルーフ末端に装着するスポイラー(矢印)がある。数こそ少ないがエアロのサブ的なパーツとして採り入れて、さり気ない違いを演出したい。そのほか、天井でのお手軽メイクでは、純正と交換に交換できるアンテナがあり、大抵だが、ダイノックシートと呼ぶカーボン調デカールを貼るメイクもある。

## ❼ピラー&ドアノブ
注目度:★★☆ パーツ数:少

純正ではブラックとなるサイドピラーには、車種別カット済みのピラーパネルがある。サイドの上質感を高めるメッキのほか、カーボン仕様もあり、脱着は両面テープで行う。DIYの入門パーツとしても挑戦しがいは充分だ。同じくボディサイドでいえば、純正同色となるドアノブも攻略ポイントとして重要な場所。メッキカバーを被せるだけで、印象が変わってくる。

## ❽サイドミラー
注目度:★★☆ パーツ数:少

ピラーやドアノブと同じくメッキカバーがあるなど、お手軽メイクを楽しめるサイドミラー。30系プリウスは純正でウインカーミラーが付属するが、このレンズ部分を交換する、デモカーが装着するようなパーツもある。ウインカーとして機能させるLEDのほかに、レンズ底にLEDを追加したウエルカムランプ機能が付くのだ。純正ミラーに付くプレスラインに合わせた、塗り分けも楽しめそう。

## the interior
### 【インテリアも攻略できる!!】

シートカバーを筆頭に、インパネキットやフロアマットといった三種の神器的な鉄板パーツから、お手軽交換で楽しめるルームランプLED、実用的なテーブル類、そして純正エアバッグを継続できる純正交換ステアリングなどバリエーションは豊富。その大半をユーザー自ら交換できるのもインテリアパーツの魅力だが、ドア内張りの張り替えなど、一部にワンオフ技を採り入れると、完成度はさらにアップする。

**ステアリング**
簡易カバーもあるが、高い一体感を求めるなら、スポークだけを純正と交換するモデルがオススメ。レザー張りのほか、木目などもある。

**テーブル**
ドリンクホルダーが付き、専用設計ならではのフィット感が自慢。天板色を多数に選べ、イメージにあわせやすい。サイド用もある。

**フロアマット**
ドレスアップ用としてはもちろん、車内の汚れ防止用としてもぜひ欲しいフロアマット。トランク用のマットもある。デモカーのように、LEDを間接照明として利用するのも有効。

**シートカバー**
デザイン、色、素材などを選べるシートカバーは、張り替え型のフィット感抜群な型が多い。時間はかかるが、ユーザーが自分で装着できる。

### 30系オーナー必見のこんなサービスも!!

特徴的なセンターコンソールを持つ30系だが、そのシフトゲートを移設して、鈴鹿左右間をウォークスルー状態へと変更する加工がある。プリウスコンプリート販売専門店、フレンズによる、ユニークな提案であり、内装色にあわせたメイクが可能。

Special thanks!!

エアロテックジャパン・吉川さん

### エアロテックジャパンほか、有名メーカー協力のエゴカープロジェクトってなんだ?!

ランドスタイルでお馴染みのエアロテックジャパンが音頭を取り進められている、エゴカープロジェクトとは"もっと自分らしく、もっと個性的なハイブリッドドレスアップを楽しもう!!"と企画されたもの。エアロをエアロテックジャパン、シートカバーをスパイシーチューン、ホイールをレイズなどが協賛し、それぞれの得意分野を活かしてプリウスを製作。そして完成したデモカーが、今回撮影に協力してもらったこのクルマだ。今後はプリウスだけでなく、ハイブリッド全般を視野に入れ、いろいろな仕掛けを提案する予定。詳しくはWEBサイトなどでチェックしてみよう。

**30系プリウス・エゴカープロジェクト参加メーカー**
●スパイシーチューン ●レイズ ●ダンロップ ●CEP ●カーサービスフレンズ ●タスカル ●ピボット ●エーモン工業 ●RS-R ●ディクセル ●エアロテックジャパン

問:エアロテックジャパン ☎072-633-7744
http://www.aero-tech.co.jp

Photos by 平岡義利